

Wi-fiスポットの利用による情報流出に注意

～インターネットトラブル事例集より～



スマホは、携帯電話事業者の回線（4G/LTE/5Gなど）だけでなく、Wi-fiスポットを使ってネットに接続することができることは皆さんご存じだと思います。現在、Wi-fiが自由に使える場所が増えていますが、ネットを使いたいという人の思いを利用した悪質なWi-fiスポットもあります。Wi-fiスポットを安全に使うために気をつけたいことを考えてみましょう。

パスワード不要の無料Wi-Fiスポットで



くんは、パスワードもいらず無料でネットに接続できる場所を近所に発見。家の電波が不安定なので、よくその場所に行ってネットをしていました。


通信内容が盗み見られてしまった



そのWi-Fiスポットは、他人の情報を盗むために悪意で設置されたものでした。くんの通信内容は、ずっと盗み見られていたのです。

★考えてみよう★

○悪質なWi-fiスポット

悪意を持ったものがWi-fiスポットを設置することもあります。新しくWi-fiスポットに接続するときには、誰が提供しているのか、接続先の名称や鍵マーク（)は正しいかを確認するようにしましょう。

○通信内容の保護

個人情報等を入力するときは、通信を途中で盗み見されないようにするために、ブラウザ上に鍵マークが表示されるか、URLが「https」からはじまっているかを確認しましょう。

○「いざ!」というときのために

緊急災害時など、携帯電話会社の電波が使えなくなることがあります。通学路や自宅の近くなどで安全なWi-fiスポットをいくつか知っておけば、命をつなぐことに役立ちます。

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2021年版）」

https://www.soumu.go.jp/main_content/000707803.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745（直通）

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

子どもの安全安心に関する情報を
ツイッターで発信しています →

